

り災証明発行支援システムの導入に向けて！



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

り災証明発行支援システムについて

だて) 1年前に導入を要望した、り災証明発行支援システムの検討状況を伺う。

市) 平成30年度の導入に向け準備をしている。導入により災害時における、り災証明発行事務の格段な迅速化・効率化が期待できる。

だて) 導入直後からシステムを運用できるよう職員の訓練の計画的な遂行とそのスキルを持った職員の災害時における配置の検討を要望する。

市) 職員への訓練を徹底し、配置も検討する。

外来動植物の脅威について

だて) この春も市内で多く見られたオレンジ色の花、「ナガミヒナゲシ」。その凄まじい繁殖力の強さに加え、周囲の植物の育成阻害をする物質を出すとのこと。対策の必要性はないか？

市) 市内の実態把握に努め、対策を研究する。

だて) サクラやウメを枯らすクビアカツヤカミキリも問題になりつつある。併せて対応を求む。

市) 市民への周知や協力もお願いしていきたい。

新府中街道の歩道活用の可能性について

だて) 新府中街道が部分開放されたが、両側の10m幅の歩道部分を通行している人は非常に少ない。今後、未着工部分の設計の際には歩道を他用途にも活用するような検討は可能であるのか伺う。

市) 未着工部分には市役所用地や市道と隣接している場所もあり、可能な範囲で東京都と調整を行っていきたい。

●上記以外に「妊娠・出産サポート」「市のPR」「市町村総合体育大会」「ゾーン30」について質問を致しました。

再開発ビル完成目前！ 市政の起爆剤に活用を！



無党派 木村 徳

木村) これまでも歩車分離信号の増設を求め、国分寺駅北口での新設など一定評価はするが、未だ市内4か所と少ない。今後の都市計画道路整備に合わせて更なる設置とともに、既存信号の歩車分離化を強く推進すべきだ。

建設環境部長) 歩行者の安全のために市としても歩車分離信号を推進していくべきものと考えている。既存信号も含め警察と協議を進めていく。

木村) 来春に再開発ビルの完成を迎え、関係者向けセレモニーは予定されているが、これまで多くの市民にも協力して頂いての再開発である。市民に感謝を表す意味も込めた企画をすべき。

まちづくり部長) 長年、市民等のご理解・ご協力があったの再開発であり、提案に共感する。関係者と調整の上、実現していきたい。

木村) 更に、再開発ビルが多摩2位と4位の高さでかなり遠方からも見えることを活用した写真コンクールや、従前から求めている、寄付を募って駅前広場に銘板を設置する等、まちの魅力発信に関わる取り組みも実現を。

政策部長) 面白い提案だ。前述のイベントや5階公益フロアも活用しながら検討していく。銘板設置は実施を前提に庁内で検討を進めている。

木村) 市の職員採用試験応募者数が昨年の史上2番目から今年は更に倍増したがその要因は。また新人育成には現職職員の資質向上が必須だ。

総務部長) 全員面接の実施や、人物重視の試験が評価を得て、自分の能力を発揮したい人材が集まった結果だ。係長の議会傍聴研修の実施、能力ある職員は30代で管理職になれる昇進制度により、資質向上と市民サービスを高める。

柔軟性をもった市政経営、 市民利益の実現を



自民党新国会 丸山 哲平

自治会・町内会支援について

丸山) 以前より自治会加入率向上のため、市としての目標を設定、加入率向上策を講ずるべきと指摘してきた。この指摘を受け市が目標を設定したことは評価。だが支援策については従来の物的支援にとどまっている。いくつかの自治会は人材不足の状況で人的支援も行うべき。他自治体では人的支援制度を導入しだしている。また自治会自身で課題を抽出、解決頂くべくコンサルタント派遣も効果的と考えるがどうか。

市民生活部長) 人的支援について研究して参りたい。コンサルタントについては東京都の実施事業があり申請の手助け等を考えて参りたい。

生産性向上、仕事の仕方改革について

丸山) 庁舎建設が今後市政における大きなテーマとなる。この機に仕事の仕方そのものを見直すことが重要。今後、立席会議の導入を検討してはどうか。効率性及び質の向上を目標として現状の会議実態の検証から始めて頂きたい。

行革担当部長) 有効性は認識。会議実態の検証と合わせ、立席会議について検討して参る。

学童保育所の夏休み期間中の運用について

丸山) 学童保育所につき対象を4年生以上に拡大して欲しいとの声を多く聞く。現状狭隘状態にあることは理解するも、8月の夏休み期間中は他月と比較し出席率が低い。この期間に限定し4年生以上の受け入れを検討できないか。財政・面積等で限りがある中、出来ることから段階的に試行することが重要と考えるがどうか。

子ども家庭部長) 手法含め考えて参りたい。

その他) 職員研修、国民保護訓練等質問。

健康で住みやすいまちへ 新たな取り組みを！



公明党 なおの 克

オープンデータ戦略の推進について

問) オープンデータの活用に向けて早急に実施すべきではないか？

市) 統計等公表する形で取り組んでまいりたい。

●マイナンバーカードの多目的利用について

問) 市民割引清算が行える駐輪場、ぶんバスの清算にマイナンバーカードが活用できないか？

市) 他の自治体等の事例も含めて全庁的に、普及率など見ながら検討していく。

問) 商店街や観光等、地域活性化に繋がる自治体ポイント制度の導入を求める。

市) 導入に向けて全庁的に準備を進めていく。

●福祉・健康施策について

問) 脳ドック健診助成制度の確立、人間ドック健診の利便性向上を求める。

福祉保健部長) 医師会の協力を得ながら、さらに検討を進めてまいりたい。

問) 特定健診受診率向上に、ニーズ調査、特典の付与、新たな予約システムの構築を求める。

市) 若年層健診等、電子申請が可能になった。早急に検討してまいりたい。

問) 医療的ケアが必要な子どもや親の居場所づくりが必要だ。実態やニーズ把握、関係機関の連携等、可能な限りの支援体制を構築すべきだ。

市) 各関係機関や庁内連携を図りながら、支援の仕組みづくりを進めていきたい。

●まちづくりについて

問) 地域活性化に繋がるシェアサイクルの誘致を求める。

市) 鉄道事業者実施のSuicleについて、情報交換を行っており、様々な手法を検討していく。

年齢相応の運動習慣定着で 市民の健康増進を



公明党 高橋 りょう子

(1) 健康推進施策について

①健康維持には運動習慣の定着が大切。動機づけにポイント制導入等で運動促進の取り組みを。

市) 横浜市取り組み等を参考に研究したい。

②乳幼児連れでも安心して受診可能な健診を。

市) 医師会と協議し、託児付き健診を検討する。

(2) 災害時の障がい者支援施策 問) 情報が届きにくい聴覚障害の方と手話通訳者双方が、一目で認識できる用品(参考品提示)の導入を。

市) 議員提示の実物を見て支援する側・される側双方に認識しやすいと実感した。研究する。

問) 窓口配架の聴覚障がい者用電子筆談器。対象者・職員への更なる情報提供周知で利活用を。

市) 日常的に庁内横断的な情報共有に努める。

(3) 政府の自殺対策大綱策定で市の計画を自殺者の年齢層が若年化している。SOSを出す事の重要性を具体的に教え命を守る取り組みを。

市) 大人が相談に乗れる環境づくりと、困難からの対処方法を教育現場で充実させていく。

(4) 市民の安全・安心対策について

①多発する特殊詐欺など防犯対策について 庁用車両で注意喚起の放送を流す市内パトロール走行は効果的。実施を。市) 実施したい。

②道路 西町三丁目交差点一帯の安全対策を。市) 狭あい箇所・交差点の一体的改良を進める。

(5) 公共施設整備 問) 北町地域センターのスペース確保の為に、備品収納場所の設置を。

市) 利用者協議会の意見聴取等対応を検討する。

(6) 婚姻届は居住地以外も可能。国分寺の魅力あふれる婚姻届導入で若年世代の流入促進を。

市) 未来を見据え若い人口流入の為に導入する。

請願・陳情の 提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

市民の皆様は行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、平成29年第4回定例会(11月29日開会予定)からの審議を希望する方は、11月9日(木)までに直接議会事務局へご持参ください。